

## 【実施区域・面積】

愛知県岡崎市、3.35ha

## 【生態系タイプ】

天然林、里山林、湧水湿地

## 【実施区域の状況】

本湿地は市のおおよそ中央部に位置する小呂町の丘陵地帯の谷間に成立した湿地であり、花崗岩の領家変成岩の基板上にある。

東海丘陵要素植物（東海地方固有種・準固有種）や絶滅危惧植物を数多く確認できる西三河地域湧水湿地群の1つである。

## 【目標】

失われつつある湿地の特殊な環境と絶滅が危惧される希少種を始めとした湿地生態系全般について保全を行うとともに、動植物の監視活動を実施することで、歴史的な自然遺産として後世に継承するとともに、自然環境の重要性と環境教育の必要性を啓発する。

## 【主な活動内容】

二次林では、土壌への日光の差し込み状況によっては必要な間伐、除伐といった森林管理を行うとともに、自然環境学習の場として活用する。

湧水湿地では、生態系に影響を及ぼさない範囲で草刈りを行う。

## 【モニタリング計画】

植物（維管束植物）、クモ類、昆虫類、鳥類、両生類を対象として、二次林及びヌマガヤ群落でモニタリングを岡崎市動植物調査会及び実施。基本的には毎年、適宜実施。

## 【実施体制】

岡崎市動植物調査会は毎年定期観察調査を実施する。

おかざき湿地保全活用協議会、おかざき湿地保護の会は日常的な保全活動及び希少種の調査を実施する。



## 【計画期間】

令和7年4月～令和12年3月